

### 事例 3

株式会社ライフ・テクノサービス三重支店（業務内容：福祉機器製造販売）

## 障がい者雇用についての社内の機運を醸成する

### 課題

障がい者雇用を促進するために全社をあげて機運の醸成が必要である

- ▶ 多様な部門があるため全社的な取り組みの中で雇用を進めなければならない
- ▶ 障がい者雇用への理解が浸透していない

### 取組

障がい者雇用についての自社の強みを発見する

- ▶ 障がい者雇用2.2%をさらに促進するための部署の仕事を洗い出す
- ▶ 多様な部署で就業中の障がい者の働き方について調査する
- ▶ 施設事業部において新卒で障がい者を採用する

### 展望

内外に対して発信していく

- ▶ もにす認定取得を目指す
- ▶ 三重県障がい者雇用推進企業ネットワークに参加した
- ▶ 就労支援事業所との連携を進める

### 障がい者実雇用率

現在

2.2

%

3年後目標

2.7

%

地域社会への貢献  
誰にでも優しい職場づくりへ

障がい者雇用の  
現状の把握

障がい者雇用の  
方針の決定

実行計画を立て  
担当者が進めて  
いく

### 事業に参加しての感想

松井さん（経営企画室）

今回の事業に参加して、他社さんの障がい者雇用についての考え方や取り組み内容を聞かせていただき、たいへん参考になりました。

私どもライフ・テクノサービスも福祉機器の製造販売を始め多様な部署で障がい者に働いていただいています。障がい者が働きやすい職場は、誰もが働きやすい職場であると思います。今回得たノウハウを活用し障がい者雇用を更に推進していきます。

福祉機器の製造風景

